

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	分野横断研究を推進する統合型薬学研究・リーダー人材育成拠点形成				
研究組織	代 表 者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	滝田 良
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	竹内 英之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	濱島 義隆
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	轟木 堅一郎
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 知浩
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	渡辺 賢二
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	梅本 英司
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 章良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博
	発 表 者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	滝田 良

講演題目
分野横断研究を推進する統合型薬学研究・リーダー人材育成拠点形成
研究の目的、成果及び今後の展望
ポストコロナ時代、第三のニューノーマルと呼ばれる時代であるが、大学教育・研究においても大きな変革を強いられた。特にオンラインツールや AI ツールの普及、DX への対応などは功罪両面を含み、一層のコミュニケーションの重要性を露見させた。また、迅速なワクチン開発は基礎研究の重要性を顕著に示したことは強調されるべき点である。これら人類の初めての経験を糧として、現代の少子化などの社会課題と来たるべき第四、第五のニューノーマルに対応・貢献できる強靱な大学としての基盤作りが急務である。本学薬学部は、静岡女子薬学校からの 100 年を超える長い伝統を背景に、薬学の研究分野で独創性の高い研究を展開してきた。特に、大学院附属機関である薬食研究推進センターの設置、静岡県立総合病院内での薬学教育・研究センターの設置等により、薬食融合を中核とした分野横断型の学際研究、健康長寿社会の実現を牽引する薬学人材の育成を行ってきたことは特筆すべき点である。本計画では、参画する各研究室が展開する独自の教育研究を基軸に、これを多次元に融合する土台を醸成することで、強みである幅広い薬学各分野の横断型融合基礎研究を促進すると共に異分野連携を通じたグローバルファーマリーダーの人材育成を目標とする。各分野の強力な人的資源が濃縮された本学薬学部を環境を最大限に活用することで、大学の強靱化を加速する。 研究面では、生活習慣病・がん・感染症など重要性の高い疾病の病因・治療・予防に関する研究及び創薬・育薬関連研究を推進し、その研究成果を国内外に発信した。研究成果が権威ある国際的な学術誌 (<i>Nature</i>, <i>Nature Genetics</i>, <i>Nature Commun.</i>, <i>Journal of the American Chemical Society</i>, <i>Science Advances</i> 等) に掲載された。教育面では、大学院特別講義、月例薬学セミナー、日本薬学会東海支部特別講演会を開催し、学部生・大学院生が国内外の優れた研究に接する機会を多数設けた。また米国カリフォルニア大学デービス校とのインターネットを介した双方向の国際的遠隔授業によるアクティブラーニングを実施するなど、グローバルファーマリーダーの人材育成を目指した取り組みを行っている。政府も創薬力向上を目指した取り組みをはじめたところではあるが、本学部においても「創薬」をキーワードとしたボトムアップ・トップダウン双方向による取り組みを今後も一層強化する。